

# 大学共同利用機関法人の第5期中期目標期間における中期目標・中期計画の方向性（概要）

資料2-2  
国立大学法人評価委員会  
総会（第82回）R8.9.15

## 各法人の組織及び業務全般の見直し

国立大学法人法第31条の4に基づき、中期目標期間終了時までには文部科学大臣が行う、各法人の業務継続の必要性、組織の在り方等の組織及び業務の全般にわたる検討

### 「組織及び業務全般の見直しに関する視点」

※国立大学法人評価委員会により取りまとめ

➤ 改革の基本的な方向性を示した「国立大学法人等改革基本方針」（R7.11.4）等に加え、**各法人とのヒアリング・意見交換等を通じて特に踏まえるべき点を摘示。**

- （例）・自らのリソースや取り巻く環境等を踏まえた**自法人の強みの明確化・ブランディング** ・**学術研究の牽引と研究人材流動のハブ機関**としての機能強化
- ・人口減少下における**大学間・機関間連携（リソースの共有化等）**の推進
  - ・研究力の抜本的な強化のための**AI for Science**の推進
  - ・ステークホルダーとの対話を通じた将来を含めた**ニーズの把握・創出**
  - ・異分野融合研究の推進など「**アライアンス**」の一層の活用
  - ・財務戦略・人事戦略を踏まえた**実現可能な機能強化**の検討
  - ・研究インテグリティの徹底など**リスクマネジメント体制**の高度化

（※）一般社団法人大学共同利用教育研究アライアンス・・・4つの大学共同利用機関人と総合研究大学院大学が一体的な研究教育活動を通じてその機能を十分に発揮するための事業を推進し、我が国の学術研究の発展に寄与することを目的として設立。

## 第5期中期目標期間（令和10～15年度）における各法人の中期目標・中期計画の策定

### 中期目標

国が「**中期目標大綱**」を提示し、各法人が自らの**ミッション**として位置付けるものを選択（項目の修正や独自目標の設定も可能）

#### 中期目標大綱（素案）

- Point ①** ・主たるミッションである「1.研究」及び「2.共同利用・共同研究」から機能に応じた目標を選択  
・I「1.研究～5.その他」については、それぞれ1項目は必ず選択

#### I 教育研究の質の向上（1～5から10項目程度選択）

1. 研究（4項目）
  - ・世界最先端の学術研究プロジェクト等の推進 等
2. 共同利用・共同研究（6項目）
  - ・研究基盤について、AXへの対応等による共同利用機能の充実
  - ・コミュニティの中核として大学等との組織間ネットワークの強化 等
3. 教育・人材育成（2項目）
  - ・総合研究大学院大学と緊密な協力による複合領域人材の育成 等
4. その他社会との共創、教育、研究（3項目）
  - ・産業界との連携による研究開発の推進 等
5. その他（1項目）
  - ・異分野融合などの課題に向け法人の枠組みを超えた対応を進める 等

#### II 業務運営の改善及び効率化（5項目 ※各法人共通）

- ・法人のマネジメント体制の構築
- ・人事戦略に基づく人材の育成・確保、人事管理
- ・研究者コミュニティの意見も踏まえた開かれた運営の推進
- ・法人全体のAX推進等による効果的・効率的な事務遂行
- ・施設・設備の戦略的マネジメント

#### III 財務内容の改善（1項目 ※各法人共通）

- ・財務戦略に基づく資源配分の最適化、新たな財源確保

#### IV 自己点検・評価及び情報提供（1項目 ※各法人共通）

- ・法人経営の検証・改善、成果やコストの可視化

#### V その他業務運営（1項目 ※各法人共通）

- ・全学的なリスクマネジメント体制の高度化

※ **Point**は第4期からの新規・改善点 等

**2040年を見据えた機能強化の全体像**

（中期目標・中期計画に添付）

- Point ②** ・2040年を見据えた各法人のビジョンを可視化  
・全体像における第5期期間の位置付けを明確化

**中期計画** 各法人が、中期目標の項目ごとに、**達成水準、具体的方策、評価指標（KPI）**を示した中期計画を作成（各目標1～2つ程度）

**評価指標** 中期計画で目指す水準が達成されたかどうか、第三者が検証可能な評価指標を設定（各計画1～2つ程度）

各法人の挑戦的・先導的な取組を促すため、以下を指定し、評価方法において考慮。

- ・「**機能強化を先導する評価指標**」…当該法人にとって達成に相応の挑戦性を要する指標
- ・「**卓越した評価指標**」…他に例を見ない先駆的な取組に係る指標や他法人と比較して高い水準の指標

※ これらの評価指標の設定について、運営費交付金の配分への活用を検討

**Point ③** 各法人の挑戦的・先導的な取組を可視化すべく、2段階設定